### 三井化学株式会社

<table>
<thead>
<tr>
<th>会社概要</th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>社名</td>
<td>三井化学株式会社</td>
</tr>
<tr>
<td>創立年月日</td>
<td>1997年10月1日</td>
</tr>
<tr>
<td>社長</td>
<td>橋本 修</td>
</tr>
</tbody>
</table>
| 本社 | 〒105-7122 東京都港区東新橋1-5-2  
汐留シティセンター  
TEL 03-6253-2100（コーポレートコミュニケーション部） |
| 資本金 | 125,297百万円 |
| 従業員 | 17,979人（連結2020年3月31日現在） |
| 連結対象会社数 | 156社（国内46社、海外109社 2020年3月31日現在） |
| 国内製造拠点 | 工場6 |
| 国内販売拠点 | 本社、支店3 |
| 発行済株式総数 | 204,580,115株（2020年3月31日現在） |
| 主な事業内容 | モビルティ事業、ヘルスケア事業、フードパッケージング事業、基礎素材事業 |
| URL | http://group.mitsuichemicals.com |

* TM®および®はすべての製品、三井化学株式会社および関係会社の商標あるいは登録商標です。*
世の中を驚かせたり、
快適にしたりするアイデアは、
きっと思いきった発想の転換から
生まれてくるのだと思います。
新たな視点にたって創造することで
0から1を生みだす化学の力。
私たち三井化学は、その確かな力で
モビリティ、ヘルスケア、
フード&パッケージングを中心に
未来へのソリューションを提供していきます。
VISION
経営ビジョン

化学には社会課題に対して果たすべき役割があります。
私たち三井化学は、環境や社会を含めて、社会とともに持続的に発展できる企業を目指し、今を見つめ未来を見るとするならばさまざまな取り組みを推進しています。

企業グループ理念
地球環境の調和の中で、材料・物質の革新と新製品を通じて高品質の製品とサービスを顧客に提供し、社会に貢献する。

目標すべき企業グループ像
持続可能な社会を育む活性化、グローバルに存在感のある化学企業グループ。

BUSINESS PLAN
経営計画

革新的な技術と製品・サービスを通じて
社会の持続的発展を目指します。

新たな顧客価値を創造し、事業活動を通じて社会課題を解決する
企業グループを目指し、5つの事業領域と経営基盤を強化し、「環境と調和した共生社会」、「健康・安心な健康社会」、「地域と調和した産業基盤」の実現に向けた取り組みを進めていきます。

主要経営課題を達成し、社会に価値を提供するための基本戦略

モビリティ

ヘルスケア

フードパッケージング

次世代事業

基盤要素

成長3領域

創出・育成

競争力強化

将来的Futur Vision
未来的のクルマは格好いいだけじゃない。

モビリティ

その軽快な走りは、クルマの部品の約7割が樹脂でできているからです。

クルマに用いられている樹脂の重量は、総重量の約10％の100キログラム程度です。しかしその使用されている部分約1万部、高光量化の関係、その重量は使用されている樹脂の約7割を占めています。軽量化や環境負荷の低減は、このクルマの性能に反映のためには、軽くてさまざまな機能を持つことが、できる樹脂は、ますます欠かせない存在になっているのです。

ニーズに合わせてカスタマイズ。

クルマに用いられる樹脂で、三井化学が高分子を有しているのがPPコンパウンドです。PPコンパウンドとは、改質剤などを混合し特別な機能を高めたポリプロピレン樹脂の樹脂で、お客様のニーズに合わせて配合を変えることにより、強度を増したり、衝撃性を高したり、カスタマイズすることが可能です。特にクルマのパネルやインパネ、ピラー（梁の柱）などに使用されています。三井化学では、自動車メーカーのグローバル戦略に対応できるよう、世界の拠点でPPコンパウンドの生産体制の強化、拡大を進めています。

軽くて柔軟、リサイクルにも対応。

三井化学の長年にわたる樹脂と合成ゴムの研究開発から生まれたのがミラストマーカーです。これは樹脂類の中でも密度が最低でも、耐熱性が長持ち、内部、エアバッグカバー、断熱ブームなど数多くの部品に使用されるが、さらなる熱意向上が期待されます。柔軟で、さまざまな成形に適する、またリサイクルが可能になるため、資源開発による経済的なメリットもあります。

次世代型コンセプトカー「Hour's Pod」（アワーズポッド）

モビリティの分野でさまざまなニーズに対応するために、新しい材料開発も積極的に行っています。三井化学が開発した「テクノス」は、ポリプロピレン（熱可塑性樹脂）をベースにした炭素繊維強化熱可塑性樹脂のテーブル、積層板やパイプ状に成形したマットを原材料に使用しています。この技術を用いて軽量化、低収縮性、成形面積性を求めるとともに、ソリューション提案による市場開拓を進めています。
メガネのレンズは、視力矯正だけを視野に入れているのではありません。

三井化学では、低屈折率から高屈折率まで、幅広くプラスチックメガネレンズの材料を展開しています。しかし、私たちが目指しているのは、単なる視力矯正用レンズの材料を提供するだけでなく、レンズ材の可能性を拡げ健康や快適さなど、さまざまなニーズに応えること。そのビジョンは、健康で安心な長寿社会の実現に貢献するヘルスケア分野で、新たな製品やサービスを生み出しています。

有害な光から目の健康を守る。

紫外線から目を守ることの重要性は広く知られていますが、最近の研究では400-420nmの短波の可視光線も網膜組織にダメージを与え、加齢黄斑変性などの要因になり得ることが見出されています。しかし、一般的な視力矯正メガネのレンズでは、400nmまでしかカットされていませんでした。三井化学は、新しいメガネレンズ用材料として『UV+420cut™』を開発。紫外線から可視光線の420nmまでをブロックして目を守ります。

赤ちゃんのお尻をもっと快適に。

紙おむつには、細い合成繊維を組み合わせた布状にした不織布が使われています。不織布は、水分や空気の通過性がよく柔らかな肌触りで、赤ちゃんのお尻にぴったり。しかし、引っこ張っても伸びたり縮んだりしないので、脱ぎ着がしやすく、動かないという問題がありました。三井化学は、特殊な技術を駆使し世界で初めて伸縮性のある不織布を発売に成功。おむつ全体に柔しくフィットし、違和感やふくらみといった不快感を抑えた改良版の発売に改善しました。この伸縮性不織布は、すでに紙おむつメーカーに採用され、赤ちゃんの成長を優しく見守っています。

患者の方々に喜ばれる歯科材料。

オーラルケアも三井化学が今、注力しているヘルスケアの領域のひとつです。歯科材料の分野では、修復のための歯冠やブリッジを3Dスキャナーなどのデジタル機器によって設計・生産する時代を迎えています。三井化学は、そうした歯科材料のデジタル化にいち早く対応するとともに、従来の修復だけでなく予防・審美・診断といった新たな分野への展開を強化しています。
ミクロロン単位の薄いフィルムが食品を手厚く守る。

 FOOD & PACKAGING
フード＆パッケージング事業

“もっとない”をゼロに、安全・安心を100にするためのトータルソリューションです。

世界の人口増加とともに食糧問題とともに、農作物の安定生産やフード・医薬の断絶が社会の大きな課題になっています。また、食の安全・安心、環境負荷の低減に対するニーズも高まっていきます。三井化学では、こうした課題に応えようするために、産業用化粧品やフィルム加工技術を活用し、接着性、コーティング材料、包装用・産業用のフィルム・シート、農業化学物品事案をベースにして、フード＆パッケージング事業に取り組んでいます。

ニーズに応える機能をフィルムに。
食品などを包装するために用いられる薄いフィルム。実はあのフィルムには、いくつかの異なる材料を貼り合わせて生成した多層構造のものがあり、用いられる材料は、衝撃に対する強さや耐熱、耐冷性、開封のしやすさなど、それぞれ機能を備えており、用途に合わせて材料を選ぶことができます。三井化学は、こうした多機能包装の分野で、さまざまなニーズに応えることができる製品を生み出しています。

役立つ製品を、優れた材料で。
さらに三井化学では、こうしたフィルムなどに用いる機能材や接着材、コーティング材そのものの生産も行っています。例えば、水分散が困難といわれていた各種ポリマーフィルムを、独自の技術で微粒状にして水中に分散させたケミパーク®は、食品や医療包装のヒートシール用などに、また、接着剤の硬化剤などに用いられるスタビオ®は、非化石資源を活用したバイオマス由来の材料で、環境負荷の低減に貢献する社会的にも支持されているさまざまな製品を、そのベースとなる材料からサポートしています。

生産者に貢献できるお米の品種を。
農作物の安定生産という課題に応えるため、十数年の歳月をかけて育成したのが、ハイブリットライス「みつひかり」です。一般品種に比べ穂が長く、一穂あたりの粒数が多いという収量性があり、安定的で多収による生産者の収穫確率が期待できます。また、刈取りが遅くなっても品質が落ちにくいため、後作作業を分散することができます。品質・食味ともに優れ、業務用米販におけるさまざまなニーズに応えることができます。
暮らしを支える基盤も素材から生まれた。

石油などを原料に化学反応を利用して生産される石油化学製品には、プラスチックや合成繊維、合成ゴムなどさまざまなものが含まれます。それぞれの機能を備えて、社会や暮らしの中で重要な役割を果たしています。三井化学では、高い付加価値のある石油化学製品を通じて、生産システムのさらなる最適化を推進します。高品質なPPボンベやボンプコンペを安全・安定に製造できる技術など、昨日の挑戦を引き継ぎます。

さまざまな分野で活かされる素材を。

フェノール、アセトン、ビスフェノールA、高純度テレフタル酸、ペット樹脂、アセトン、尿素、酸化エンジン、工業用ガス、クレターンー、これらは、三井化学が製造している素材の一部です。こうした素材が、自動車や航空機、家電などのエンジニアリングプラスチック、クッションフィルム、衣料用繊維、飲食用品、水やガスの浄化などの環境保全、半導体や液晶製造工程の原料など、幅広い分野で利用されています。あらゆる産業の基盤となる素材や技術を支え、より良い社会や暮らしの実現を目指します。

高品質の管材が社会のインフラに。

原料となる素材だけではありません。例えば、ガスの導管や給水配管の配管システムに欠かせないポリエチレン管です。原料のポリエチレン樹脂から品質管理を厳密、最適に、加工・接着性、耐久・耐用性、さらにコストパフォーマンスにも優れるなど、多くのメリットを持つポリエチレン管が、社会のインフラを支えています。

生産する工場の基盤強化も積極的。

三井化学では、こうしたさまざまな石油化学製品を生み出す化学プラント全体の、生産技術における基盤強化にも積極的に取り組んでいます。製造機器の故障予防や品質保持のための新技術開発や、化学プラントの運転効率の向上を図るために、最新のAI技術やIoT、ビッグデータなどを活用、プラント全体のスマート化やさらなる安全・安定運用を目指すとともに、環境の変化に柔軟に対応しつつ機械が調和する、これらからの工場のあるべき姿を追求しています。

よりよい素材を創り出すことが社会を支える確かな力になります。
次世代事業

これまでになかった価値を創出し
豊かな未来に貢献します。

よりよい社会や暮らしを実現していくために必要なものは何か、欠けているものは何か——三井化学は、今まで取り組んできた分野の境界や外縁の領域を開拓し、次世代を担う新事業を創出する取り組みを積極的に行っています。太陽光、風力発電などのエネルギー、医療・農業に関わる分野、そしてIoTソリューションなど、幅広い領域でさまざまな業界間の連携しながら新たな領域に挑んでいます。

太陽光発電を診断する。
太陽光発電の診断・コンサルティング事業も、三井化学の未来に向けての挑戦です。太陽光パネルの発電不良などのトラブルを防ぐために、設置前にパネルの品質評価や運用時の不具合の早期発見の需要が高まっています。三井化学では、太陽光発電のための部材やパネルの分析・解析・試験サービスを提供しており、国内最大級の太陽光発電所の事業者でもあります。専門技術と知識、実績を活かして、自然エネルギーの活用推進に貢献しています。

人と共存するロボットのために。
労働人口の減少や高齢化の問題を解決するための手助けのひとつとして、注目されているのがロボットです。そして産業用ロボット、サービスロボットなどの分野でも、人との共存に向けたハイレベルの安全性と機能向上が求められています。三井化学では、こうしたニーズに応えるために、外部との連携を通じて、オープンイノベーションによる新しいビジネスモデルの創りに挑戦しています。

技術を活かし医療に貢献。
また医療の分野では、検査・診断に有用な技術・事業開発を進めています。例えば、敗血症の原因をすばやく特定する新たな検査法の実現に関け、富山大学と共同研究に取り組んでいます。敗血症は致死率が高い全身性炎症性疾患の一つで、原因菌を迅速に同定する必要があります。この検査法は、採血から結果発表まで15時間で同定できるため、救命率の向上に寄与できます。三井化学は、健康、安心な長寿社会の実現を目指し、今後に最先端の技術開発を通じたソリューションを実現していきます。
R&D
研究・開発

社会の価値のしくみが大きく変化していく中で、多くの人たちの想いに
いち早く応えるためのイノベーションを積極的に推進しています。

顧客起終でイノベーションを
追求しています。

環境や社会の変化にとらえ、人々の価値観やニーズが大きく
変わろうとしている今、日常のモノづくりのりや物のは、もはや適用
しない時代が訪れようとしています。

三井化学は、研究・開発で顧客起終によるイノベーションを推
進。今、社会で何が必要とされ求められているのかをいち早く
見つけ出し、長年蓄積し強化したテクノロジーで新たな価値を
提供していきます。

「化学反応、1粒のペレット、1枚のフィルムから、世界中の
人たちの笑顔を生み出し、暮らしが中で鎖や予期されない。そして、
さまざまな力から「そうだ、三井化学に聞いてみよう」と気軽に
お声がけいただける企業を目指して——それが私たちの研究
開発にかける夢です。

お客様の思いを
かたちにして届けるために。

三井化学のモノ作りは製品などに採用され、社会や人々の暮らし
の中で用いられる製品製造までに、長い道のりがあり
ます。お客様のニーズとウオンツを満たすためには、お客様と同じ
ような製品をつくる経験を重ねて、コミュニケーション力を高めて
いくことが必要です。

さらに、価値観が多様化する中で、お客様の願いを、総合的にデザ
インすることによって実現し、社会への貢献に努めています。

これらを合わせ、コミュニケーションデザイン戦略として、今まで
にない新しい価値をお届けできるよう積極的な取り組みを行って
いきます。

顧客への新しい価値を提供

顧客ニーズとウオンツを
いち早く見つける
顧客の感性を材料や
システムに創り出せ

新たな共通言語の獲得
インタラクティブデザイン
情報発信機能
オープンイノベーション
知床財団にノンロット®ツリーデッキを寄贈

三井化学と三井化学株式会社は、公益財団法人知床財団が主催する知床自然教室の40周年を記念して「木が呼吸できる塗料：ノンロット®」で塗装したツリーデッキを3基寄贈しました。このツリーデッキは、自然教室に参加した子供たちや自然教室卒業生、斜里町観光、知床財団のみなさんと共に製作しました。

CSR
環境・社会
持続可能な社会の実現に向けて、環境や社会の課題解決に貢献するためのさまざまな取り組みを行っています。